

2018年度 栄寿会 散策同好会企画
「上野公園を歩く」のご案内

松の内を過ぎ、寒さも本格的になって参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、会員の皆様は既に関東・東京近辺で長年生活され、「ほとんどの名所旧跡は行ったことがあるよ」とおっしゃる方が多いと思います。今回はそれでも「東京と言えばここでしょう」という場所をあえて選定しました。上野公園は敷地面積も大きく、多くの有名な建物があり、見どころ満載で、「何回行っても飽きない」「行く度に新しい発見がある」と考え、散策同好会では「上野公園を歩く」を企画してみました。徳川家菩提寺である寛永寺から東京芸大美術館、国立博物館を巡ります。さらに国立博物館内の美味しいランチを楽しみます。ゆっくりと散策できる日程として花見の時期を避けた3月20日(水)にしています。(「この冬は平年より温暖」との予想も出ており桜の開花と重なれば、人出は多くなりますがご容赦ください。)是非、奥様同伴で参加下さいますようご案内申し上げます。

尚、参加・不参加は、奥様同伴か否かも含めて2月20日(水)までに、
担当連絡員までお知らせください。

参加申込み後のキャンセルは3月13日(水)までにお知らせ下さい。3月14日以降のキャンセルの場合には、実費を徴収させていただきます。

以上

記

◎日 時 平成31年3月20日(水) 10時～16時頃

◎集合場所&時間 JR「鶯谷」駅 南口改札(上野より) 出口 9時40分集合(時間厳守)

◎内 容 ①JR 鶯谷駅 ⇒移動(20分)

②徳川家菩提寺・寛永寺(滞在:30分) ⇒移動(15分)

③東京芸大アートプラザ・美術館(滞在:45分) ⇒移動(10分)

④東京国立博物館総合文化展(以下、常設展)入館 昼食(約1.5時間)

⑤東京国立博物館内・庭園 自由散策 ⇒ 流れ解散

◎備 考

◇雨天、(もちろん) 決行します。

◇国立博物館の常設展に入館します。博物館は70歳以上入館無料となります。運転免許証、健康保険者証等、年齢が証明できるものをご持参ください。

◇昼食は博物館内でランチを予定しています。(ビール等の飲み物は各自でご精算願います。)

◇構内・館内は広く結構歩きます。散策に適した服装・履物で参加願います。また、カメラ撮影が許可されているところも結構あります。カメラ持参をお勧めします。

◎会 費 2,000円 (入館料、昼食代、保険代等含む)

◎その他 以下は企画詳細と下見の際の感想です。ご参考にして頂ければ幸いです。

【企画詳細と下見感想】・・・・・・・・・・・・・・・・

○鶯谷駅から寛永寺まで 徒歩約20分（移動時間はいずれもゆっくり歩いた時間）

○寛永寺での滞在 約30分

五代将軍・徳川綱吉の霊廟と寛永寺根本中堂を見学。綱吉の霊廟は他の将軍や正室等のものより質素な感じがしましたが、それでも将軍の霊廟であり凄いことにかわりありません。他にも八代吉宗、十三代家定、十三代正室天璋院の霊廟があるようです。今回は時間等がうまく折り合わないために見ることはできませんが、機会があれば是非参拝を申込みたいと思います。（寛永寺ホームページからの申込）

○寛永寺から東京芸術大学アートプラザまで 徒歩約15分

○東京芸術大学アートプラザ・美術館での滞在 約45分

美術館の隣にあるアートプラザでは学生・教職員・卒業生の作品を展示・販売しています。意欲的な作品が多く興味をそそります。美術館の展示は1フロアだけでしたが、迫力ある素晴らしい作品が多く展示されていました。中には重要文化財となっている作品もあり、「あれ？どこかで見たことがあるよ」といった作品にも出会えます。

○東京芸大美術館から国立博物館まで 徒歩約10分

国立博物館の入口に行くまでの途中に、移築された鳥取藩池田家上屋敷の正門「黒門」があります。並び称されるのが東京大学の加賀藩上屋敷の表門「赤門」です。年月が経っているため確認はできませんが、当時は漆塗りの見事な門だったのでしょね。

○国立博物館での常設展に入館

○食事は国立博物館内 レストラン 「ゆりの木」 あるいは 「ガーデンテラス」

（もちろん事前に予約しておきます。飲み物は各自でご精算願います。）

○国立博物館

東洋館、本館（日本館）、平成館、法隆寺宝物館等の建物があり、展示物も多く構内・館内も広く、まさに想像を超える「Too many」の「Too wide」です。上野公園内の建物（西洋美術館、東京文化会館、科学博物館、東京都美術館等）もそうですが、博物館内の建物も有名な設計デザイナーによるもので、建築物に関心がある方にはたまらないものです。常設展の展示物も興味を引くものが多く十分楽しめる内容になっています。

散策同好会の当企画では国立博物館の常設展に入館し、ホテルレストランの豪華な昼食を食べます。昼食後の博物館内の散策は自由とし、流れ解散とさせていただきます。心ゆくまでゆっくり散策してください。また、今は姿が変わっているかもしれませんが寛永寺境内の敷地であった頃の庭園や茶室もあります。構内・館内は広いために休憩をしながらまわるのが良いかと思えます。休憩のための椅子は構内・館内に用意されており、喫茶店もいくつかあるようです。

早く見終わった方は、「東京都美術館」「科学博物館」等にも足を運んで頂ければどうでしょう？月の第3水曜日は都のシルバードーとなっており、東京都美術館では65歳以上は無料です。科学博物館も65歳以上は無料です。（いずれも年齢を証明するものの提示が必要です。）

見るところが多くあるため、結果として多く歩くことになります。体の疲労が「Too much」となることに注意された上で、ほどほどの体力・気力を残しておいて頂き、「また行ってみたいね」となるのが上手な散策の楽しみ方ではないかと思っています。そんな散策になれば良いのですが・・・。

以上